

成果指標				
成果指標	社会活動事業数と開催回数、並びに参加延人数			
指標設定の考え方	社会教育機関である公民館は多様な学習機会等の提供、地域社会の形成や地域文化の振興に貢献するなど住民の日常生活に身近な生涯学習のための機関で、各事業数と参加延人数を指標とする。			
区分年度	26年度	27年度	28年度	
目標	45事業10000人	45事業12000人	45事業12000人	0
実績	42事業16467人	43事業13370人		0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	各地区公民館職員間での各事業の情報交換を密にするとともに、企画段階から実施方法等関係者と協議を重ねながら各種事業を実施することができた。今後も、あらゆる機会を通じて住民ニーズの把握に努め、内容等の充実を図るとともに、住民主導の事業に展開していけるよう検討を重ねていく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	4	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	事業内容については、各地区の公民館運営審議会及び公民館の各部会で協議され、各地域独自の内容となっているが、それぞれの地域のニーズ及び地域課題の解決に向けた活動が展開されており、今後も検討を加えながら継続実施する。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	一次評価結果のとおり事業継続と判断する。
意見、課題	

行政評価委員会の答申

外部評価
(行政評価委員会)

経営者会議の最終判断

事業の方向性

現状のまま継続する。

意見、課題